

顧客別・プロジェクト別収益性管理研究会

報告資料

株式会社 A B M (WOODLAND GROUP)

〒105-0013東京都港区浜松町2丁目2番12号
秀和第1浜松町ビル3F

TEL:03-3434-7988 FAX:03-3434-4442

<http://www.biz-manage.jp> e-mail info@abmc.co.jp

活動目標及び活動報告

活動目標

本研究会では顧客別・プロジェクト別(セグメント別)収益性管理が、必要とされる市場とはどのような市場か、またその市場ではどのようなセグメントを管理対象とし、どのような手法を用いてその管理を行うのか、それらの情報を収集、整理し、体系化することを目標とする。

2004年度活動報告

当初研究会の目的として、企業における収益性管理の実現すべく、ABC(Activity-Based Costing)を活用した管理手法を模索することを前提に、どのような活用形態が望ましいのか、その普及、発展を目的に研究を進めることを想定していたが、研究会での議論を通じ、そもそもそれぞれの企業群がどのような管理体系を模索し、実現しようとしているのかを調査・分析し、その管理体系に即した手法を提示する上で、本研究会のテーマである「顧客別・プロジェクト別収益性管理」の活用シーンを探るといった方向性へと軌道修正した。

上記方向性の下、アンケート調査を実施し、調査分析を行う。2004年度においては、アンケートの内容調査対象、アンケート送付先、実施体制について研究会の会合以外で調整を行った。

また、アンケート送付先の選定方法や送付のポイントなどについては、櫻井教授及び伊藤助教授(玉川大学)指導の下、各研究室にて検討を重ねてきた。

尚、伊藤助教授は、8月度より、実務的な面でのオブザーバーとして、関与して頂いております。

これまでの活動サマリ

2004年 1月 21日(水)	第1回会合	
2月 12日(木)	第2回会合	研究会の方向性議論
3月～7月		IBM-BSC社とのアンケート検討会(分科会)
7月 12日(月)	BPIA研究会(ABM+IBM)	アンケート内容の方向性決定

-内容-

アンケート項目についてディスカッション

- ・質問項目構成について、回答者が回答しやすいアンケート項目数は何項目程度か？
- ・入力しやすいアンケートフォーマットはどのようなものか？
- ・7月12日現在のアンケートフォーマットにおいて、重複、わかりにくい表現はないか？

7月 21日(水) アンケート項目内容検討 伊藤助教授(玉川大学)へアンケート項目を確認

-内容-

- ・7月12日の分科会をうけて、アンケート項目修正後、伊藤助教授へ接見修正案を持参して、アンケート内容についてディスカッション
- ・回答欄には「その他」の入力記号は作らない
- ・アンケートでの質問項目は10～15程度が適切
- ・1問当りの選択肢は5～6項目以内抑え、入力しやすくする等、具体的な指導をうける

これまでの活動サマリ

8月 2日(月) アンケート項目内容確認 櫻井教授(専修大学)へアンケート項目を確認

-内容-

- ・アンケート内容及び項目最終確認、概ねの内容の了解を得る

8月10日(火) アンケート送付先検討 伊藤助教授(玉川大学)へ送付先業種・企業数等について検討

-内容-

- ・アンケートを送付する企業の業種については、どのように選出すべきなのか？
- ・過去に伊藤教授の調査した際の送付先等についてのアドバイスを得るも、趣旨が「原価企画」に関する調査であったため、精密機器及び機械メーカー等に偏っていたが、経営企画及び経理部門長を対象にアンケートを送付する方針が確定。
- ・送付先業種の選定には、周知性を鑑み、NIKKEI NETに掲載されている業種区分を利用することを確認。

NIKKEINETに記載される27業種全てにアンケートを送付すべきか？

当初、小売業、医薬品卸、製造業等、特定の業種に絞って、調査すべきか、

NIKKEINET全業種へ配布すべきかについて議論が交わされる。

特定業種の場合、特定業種を選定する事由、公平性などについて議論があり、最終的には適切な事由が選定できず、全業種へ送付する方針となる。

これまでの活動サマリ

8月18日(水) アンケート送付先検討

櫻井教授(専修大学)へ送付先業種・企業数等について検討

-内容-

- ・8月10日のディスカッションを受けて、櫻井教授へ方針を確認。
- ・さらに各業種に何社、選出するのか、何を基準に選出するのかを検討
- ・EVA、ROI、売上高、従業員数、資本金など、様々なKPIを検討し、最終案として、売上高を基準として、企業を抽出する方針を決定する。

却下事由

EVA; EVA算定までに時間がかかる。とくに、一般的な財務情報から、直接費、間接費を算定することに客観性に疑義を生じさせる可能性がある。また、資本コスト算定にかかる手間もかかることが想定される。

ROI; 設備投資産業において、必ずしもROIの値が高い企業が優良企業であるとは限らず、初歩的なミスリードをしかねない。

従業員数及び資本金; どちらも、優良企業としての選定基準にはならない。

8月下旬 アンケート送付先抽出DB検討

-内容-

8月13日までの議論から、全27業種、売上高上位10社にターゲットを絞りアンケート送付先を選定することが確認された。

なお、いくつかの情報ソースを検討し、ダイヤモンド社から発売されている会社社員録を使い、該当者を抽出することを決定する。

これまでの活動サマリ

9月13日 アンケート送付先の方向性決定 櫻井教授(専修大学)にて検討

-内容-

数十社のサンプルを作成し、櫻井教授に最終確認。最終合意を得る。

9月中旬～下旬 アンケート先抽出

-内容-

会社社員録を利用し、実際にデータを抽出。約500名分のDMリストを作成

10月1日(金) アンケート送付先レビュー会 IBM-BSC社とのアンケート検討会(分科会)

-内容-

アンケート最終確定案及びDMリスト、今後の分科会スケジュールを確認

アンケート調査対象

【対象業種】

ガス	食品
ゴム	水産
サービス業	精密機器
その他製造業	石油
その他輸送機器	繊維
パルプ・紙	倉庫・運輸関連
医薬品	造船
化学工業	通信
機械	鉄鋼業
建設	電気機器
鉱業	電力
自動車・自動車部品	非鉄金属・金属製品
商社	窯業
小売業	

【抽出方法】

- ・企業選抜方法
NIKKEI NETより各業種毎売上高上位企業10社を選抜
計 265社
 - ・送付先対象者選抜方法
企画系及び経理系部門長格の役職者各2名を選抜
(対象役職者が不在の場合はその他の役職者を対象)
- その他BPIA会員企業様にもアンケートにご協力頂きます。

今後の活動予定

今後の活動予定

2004年度上期に準備したアンケート調査を分析し、その結果の分析、検討を行い報告書にまとめる。アンケート調査には専修大学経営学部教授商学博士の櫻井通晴先生に監修を頂き、学識的見地からの分析と、実際に市場にて求められる収益性管理の体系及び管理軸などについて研究会での検討の取りまとめを行う。

【今後のスケジュール】

2004年 10月 第1回 アンケート送付

2005年 1月中旬 BPIA会員セミナーの実施

第2回 アンケート送付(予備)

11月上旬 アンケート集計

11月下旬 アンケート集計結果検討

12月上旬 報告書作成

12月中旬 研究会最終報告会

